



保健会館クリニックの 医師がお答えします!

第2回 甲状腺と甲状腺疾患

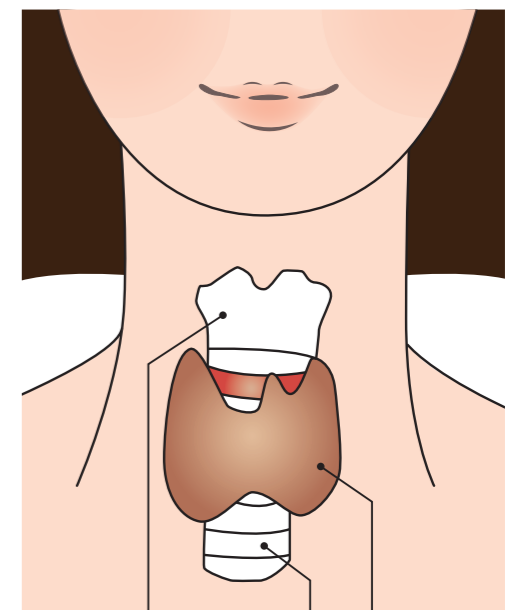
近年、テレビや雑誌等で取り上げられる機会が増えた甲状腺疾患。バセドウ病や橋本病といった代表的な病名は聞き覚えがあっても、それがどんな病気なのか、そもそも甲状腺はどこにあって、どんな働きをしているのかというところの認知度はまだまだ低いのではないのでしょうか。今号では、そんな甲状腺とその病気について、本会クリニック甲状腺外来担当の岩間カールソン彩香医師が解説します。



〔執筆者〕
岩間 カールソン 彩香
いわま カールソン さいか
本会保健会館クリニック 甲状腺外来担当医師

東京女子医科大学医学部卒業後、同大学東医療センター小児科入局。戸田中央病院、新松戸中央病院、東京女子医科大学東医療センター小児科助教を経て、2006年より現職。東京女子医科大学東医療センター非常勤講師。日本甲状腺学会専門医。日本小児科学会専門医。

図 甲状腺の位置と形



甲状腺
気管
甲状軟骨
(のどぼとけ)

Q1 甲状腺とその働きについて教えてください。

甲状腺はのどぼとけの少し下、皮膚のすぐ後ろにあり、蝶が羽を広げたような形をしている臓器です(図)。風邪をひいた時に痛くなるのどの場所とは違い、からだの表面近くにあります。

甲状腺では、甲状腺ホルモンを作っています。甲状腺ホルモンは、からだの正常な成長や発達、代謝に必要なホルモンです。赤ちゃんや子どもでは、脳の発達や身長増加、骨の成長に必要です。大人になってからも、心臓の働き、脂肪の代謝、消化管の動きなどに関わる重要な役割を果たしています。

Q2 甲状腺の病気に気をつけたほうがよいのはどんな人でしょうか？

甲状腺の病気のほとんどは女性に多いのが特徴です。年齢的には思春期から40〜50代に多く見つかってきますので、妊娠や出産にかかる時期でもあります。また甲状腺の病気の発症には遺伝的要素もあるので、これから妊娠出産を予定されている女性や、親戚に甲状腺の病気の人がいる場合は、一度は検査を受けることをおすすめします。

Q3 健診で甲状腺腫と
言われました！

健診などで甲状腺腫(甲状腺が腫れている状態)を指摘されることは

Q4 バセドウ病とは
どんな病気ですか？

バセドウ病は、甲状腺ホルモンが過剰に作られてしまう病気の代表的なものです。

通常、甲状腺は下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン(TSH)による調節を受け、2種類の甲状腺ホルモン(FT3、FT4)をちょうどよい量だけ作っています。

バセドウ病は、甲状腺ホルモンが過剰に作られてしまう病気の代表的なものです。通常、甲状腺は下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン(TSH)による調節を受け、2種類の甲状腺ホルモン(FT3、FT4)をちょうどよい量だけ作っています。

時々あります。甲状腺機能の異常による症状を表1・2に記しましたが、甲状腺疾患に特有の症状というものはありません。元々の体質(寒がりや暑がりなど)だったり、他の疾患による症状でもあり得るものがほとんどです。したがって甲状腺腫を指摘された場合には、症状のあるなしで判断せずに、血液検査をして甲状腺機能(甲状腺ホルモン)の値を調べてみるのが大切です。

表1 甲状腺機能亢進症
(甲状腺ホルモンが多い時)の症状

- 暑がり
- 汗が多い
- 手が震える
- 動悸
- 息切れ
- 微熱が続く
- 疲れやすい
- 下痢、排便の回数が増える
- 同じ量食べているのに体重が減る
- 生理不順

表2 甲状腺機能低下症
(甲状腺ホルモンが少ない時)の症状

- 寒がり
- 皮膚が乾燥
- 気力の低下
- いつも眠い
- 顔や手足がむくむ
- 声がかすれる
- 便秘
- 食べる量は多くないが体重が増える
- 毛が薄くなる
- 生理不順

Q5 橋本病は甲状腺ホルモンが足りない病気ですか？
昆布を食べては
いけませんか？

橋本病の診断にはホルモンの値は関係なく、血液検査で橋本病の抗体(抗サイクログロブリン抗体、抗甲

甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)があることで診断されます。実際、橋本病患者の多くが甲状腺機能は正常です。それらの患者は、甲状腺が腫れている以外には特に症状もなく、治療も必要ありません。

橋本病で症状(表2)が出るのは、甲状腺機能低下症(甲状腺ホルモンが足りない状態)になった時です。橋本病患者の経過を10年追うと、女性の約15%弱、男性の約50%が甲状腺ホルモンが足りなくなってきました。その場合にはホルモンを補う薬(チラーヂンS)などを飲みます。

橋本病があるとヨウ素(昆布などに含まれている栄養素)を摂ってはいけないと言われることがありますが、極端なこと(毎日おしゃぶり昆布を食べる、昆布茶を何杯も飲む、ヨウ素系うがい薬で毎日頻回にうがいをするなど)をしなければ、普通に食べて大丈夫です。また、たとえば甲状腺に何か影響が生じたとしても、ヨウ素の摂取量を通常量に戻せば、甲状腺への影響はなくなります。

* * *

バセドウ病も橋本病も、適切に治療すれば怖い病気ではありません。心配し過ぎずに、どうぞ受診してください。